

<様式4-1> (新規事業分)

事業別評価調書 (チェックリスト)

整理番号	1	事業名	信陵中学校校舎改築、耐震補強事業		補助 単独	地区名 (事業箇所名)	福島市笹谷字島原2	担当部課名	教育委員会 教育総務課
評価を受ける理由	第3条第2項 新規事業								
根拠となる項目 (○をつける)	要綱 第3条第1項 (1) 事業採択から5年経過した時点で未着工の事業								
	第3条第1項 (2) 事業採択から10年を経過した時点で継続中の事業								
	第3条第1項 (3) 評価実施から5年経過した時点で継続中の事業								
	第3条第1項 (4) 計画変更を行おうとする事業 (軽微なものは除く)								
	第3条第1項 (5) その他社会経済情勢の変化に伴い評価実施の必要が生じた事業								
	○ 第3条第2項 事業に係る予算を新たに措置し、又は事業に着手しようとする事業								
第3条第3項 本要綱と異なる対象事業案件が通知された国庫補助事業等									
事業根拠法・要綱等の名称		義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律、地震防災対策特別措置法							
事業の概要	〔事業目的及び全体計画〕 (1) 事業目的 地震から児童生徒の安全を確保するほか、学校は地域の防災拠点 (避難施設) となることから、校舎の耐震性の確保は地震防災対策の柱になる事業である。 (2) 全体計画 平成21年度に実施した耐震診断により各棟の耐震性が低いとの判定により、22年度に基本計画を行い、その中で北校舎東棟、管理棟については補強が困難との判断により25年度に改築設計、26年度より2カ年で改築工事を実施する。他の棟については26年度に補強設計、28年度に補強工事を実施する。 なお、北側普通教室棟については、24年度に耐震診断を実施している。 北校舎東棟、管理棟：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造3階建て 床面積 1,803㎡ (現有面積) 北校舎西棟：鉄筋コンクリート造3階建て 床面積 765㎡ 南校舎東棟：鉄筋コンクリート造3階建て 床面積 1,577㎡ 南校舎西棟：鉄筋コンクリート造3階建て 床面積 1,119㎡ 普通教室棟：鉄筋コンクリート造3階建て 床面積 878㎡ (24年度耐震診断) (3) 関連事業の状況 学校等の耐震化は福島市小中学校等施設耐震化推進計画に基づき計画的に進めているところである。 校舎、園舎の耐震診断は平成25年度完了を目標としており、その結果を踏まえ、改築も含めて耐震化を早急に進めていく必要がある。								
	事業採択予定年度		平成24年度		完成目標年度		平成28年度		
要	計画事業費 (うち用地費)		財源別内訳又は負担割合		主要事業種目別積算内訳				
	1169百万円 ()		国 464百万円 県 231百万円 市 231百万円 その他 (起債474百万円)		耐震診断業務委託 5百万円 補強設計等業務委託 22百万円 改築等設計業務委託 53百万円 改築工事費 954百万円 (解体撤去、仮設プレハブ賃貸借含む) 耐震補強工事費 135百万円				
<p>〔事業に関する社会経済情勢等〕 (特記すべき事項)</p> <p>(1) 事業に関連する項目 平成24年度末の耐震化率60.1% (見込み)</p> <p>(2) 地元住民・受益対象者の意向</p> <p>(3) 関係機関・団体の意向 国では学校施設の耐震化に対する国庫補助率の引き上げ措置を平成27年度まで延長し、耐震化を推進している。</p> <p>事業を巡る社会情勢 〔事業に関連する評価指標等〕 (1) 主要な評価指標 S56年以前に建築された校舎は、旧耐震基準により設計されたものであるため、大地震の際に倒壊する危険性が高い建物が含まれる。耐震性については構造耐震指標 (I s 値) と呼ばれる指標で判断する。I s 値は耐震診断により現場でのコンクリートコアの採取による強度測定及び計算により算定し判定が行われる。 I s 値による判断は次による。 ① I s 値0.3未満 震度6強以上の地震で倒壊の危険性が高い ② I s 値0.3以上0.6未満 震度6強以上の地震で倒壊の危険性がある ③ I s 値0.6以上 震度6強以上の地震で倒壊の危険性が低い ①は補強しようとする建物としての機能を損なうまで補強する必要があるため、実質的には補強不可能な建物であるために、おおむね改築が必要となる。 ②はI s 値0.7 (文科省基準) 以上となるように必要に応じて補強工事を行なう。 ③は補強の必要がない建物である。 なお、耐震診断の結果、補強とするか改築とするか判断が困難な場合は補強実施設計に先立ち耐震基本計画を実施し詳細な検討を行なう。 ○信陵中学校のI s 値について 北校舎、管理棟 (S35、36、44築) I s 値0.290 (現状) コンクリート強度8.4 N/mm2 3階鉄骨部 I s 値0.093 北校舎西棟 (S36築) I s 値0.367 (現状) → 0.899 (補強後) 南校舎東棟 (S35築) I s 値0.392 (現状) → 0.838 (補強後) 南校舎西棟 (S36築) I s 値0.336 (現状) → 0.939 (補強後) 普通教室棟 (S52築) H24年度に耐震診断 基本計画での判断 北校舎、管理棟は3階鉄骨部のI s 値が著しく低いこと、さらにコンクリート強度が9.0N/mm2を下回っていることから、補強効果が望めないことより改築をすることが妥当である。その他の棟は耐震補強工事が可能である。</p> <p>(2) その他特記すべき事項</p>									

事業別評価調書 (チェックリスト)

<p>費用対効果分析等</p> <p>【費用対効果分析等】 (1) 手法</p> <p>(2) 費用対効果の内容</p> <p>【費用で特記すべき事項】</p> <p>【需要効果で特記すべき事項】 児童が1日の大半を過ごす学習生活の場であると共に、災害発生時における地域住民の避難場所として位置付けられている事から、安全・安心な施設として整備していく必要がある。</p>	国・県・市・民間との役割分担	<p>【市が事業実施主体となるべき理由・必要性】 学校教育法第38条により、「市町村はその区域内にある学齢生徒を就学させるに必要な小学校を設置しなければならない」とされており、第49条で中学校への準用を定めている。</p> <p>【その他特記すべき事項】 国は「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」に基づき、学校施設整備に要する経費の一部を負担する。</p>																					
	市民の参画																						
<p>コスト削減等の可能性</p> <p>【コスト削減に向けた検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コストで、最大限の効果をえられる補強方法を採用する。 ・ライフサイクルコストを考慮した設計とすることにより、維持管理費の低減を図る。 <p>【その他特記すべき事項】</p>	総合評価	<p>【総合評価と対応方針案】</p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※上記の各視点毎の評価結果を踏まえ、必要性、重要性、緊急性、有効性、その他実現性等の観点に留意しながら、総合的に記述する。</p> <p>学校施設は子ども達の学習の場として、最も安全安心な環境であることが求められるほか、災害など緊急時においては地域住民の避難場所としての役割もあることから、施設の安全性の確保を図るうえで耐震化は必要条件となるものであり、早期に推進する必要がある。</p> </div> <p>(2) 対応方針案及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対応方針案</th> <th colspan="3" style="width: 85%;">新規着手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">今後の事業の進め方</td> <td style="text-align: center;">○事業計画</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年度</td> <td style="text-align: center;">北校舎東棟・管理棟</td> <td style="text-align: center;">改築設計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成26～27年度</td> <td style="text-align: center;">北校舎東棟・管理棟</td> <td style="text-align: center;">改築工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成26年度</td> <td style="text-align: center;">改築校舎以外の棟</td> <td style="text-align: center;">補強設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成28年度</td> <td style="text-align: center;">改築校舎以外の棟</td> <td style="text-align: center;">補強工事</td> </tr> </tbody> </table>	対応方針案	新規着手			今後の事業の進め方	○事業計画			平成25年度	北校舎東棟・管理棟	改築設計	平成26～27年度	北校舎東棟・管理棟	改築工事	平成26年度	改築校舎以外の棟	補強設計		平成28年度	改築校舎以外の棟	補強工事
対応方針案	新規着手																						
今後の事業の進め方	○事業計画																						
	平成25年度	北校舎東棟・管理棟	改築設計																				
	平成26～27年度	北校舎東棟・管理棟	改築工事																				
	平成26年度	改築校舎以外の棟	補強設計																				
	平成28年度	改築校舎以外の棟	補強工事																				